

都市空間における街区内細街路の景観特性に関する研究
 — (その2) 奥行プロポーション分析法に基づく街区内細街路の回遊行動促進要因—

A Study on the Landscape Design of the Narrow Street in Urban Area

-(Part 2) About the factor of narrow streets promoting walking behavior by the depth propotion analysis way -

○小山美和子¹, 岡田智秀², 田島洋輔², 落合正行², 森紗耶³, 成田和樹¹, 山口博¹

*Miwako Koyama¹, Tomohide Okada², Yousuke Tajima², Masayuki Ochiai², Saya Mori³, Kazuki Narita¹, Hiroshi Yamaguchi¹

Abstract: The purpose of this paper is to clarify the spatial characteristics of narrow streets in urban area. As a result, it clarified the promotion factors of walking behavior in Omotesando area, Tokyo.

1. 研究目的; 本研究は近年, 「ちい散歩」や「プラタモリ」など, いわゆる“まち歩き番組”が人気を博していることから, 特定の目的地を定めず自由にまち歩きを楽しむ回遊行動が都市空間の魅力の一つであることに着目し, 特に, 幹線道路などの表通りで囲まれたその内部の街区内細街路(以下; 細街路)を研究対象とし, その進みたい・進みたくない細街路の景観特性を明らかにするものである。筆者らの先行研究^{1) 2)}では図1に示す東京都表参道地区を対象に, 進みたい・進みたくない細街路の要因分析として, 街路の「奥行き感」が影響するという観点から奥行プロポーション分析法を提案した。その結果, 図2に示すゾーンAの進みたい細街路と, ゾーンBの進みたくない細街路の絞り込み感が重要となることを捉えた。その一方で, ゾーンAおよび行止りを除くゾーンBの細街路はどのような状態であれば「進みたい」という行動欲求を促すかは明らかになっていない。

そこで本研究では, ゾーンBの細街路において回遊行



図1 対象地域の概要 [筆者作成]
 表1 調査概要および分析方法 [筆者作成]

調査期間	2016/8/12(金)-11/25(金)のうち平日 10 日間 11:00-16:00(晴天)	
調査対象地	東京都港区北青山・渋谷区神宮前地区に位置する街区内細街路	
調査対象者	日本大学理工学部 学生被験者 30 名	
分析内容	奥行プロポーション	[奥行面] 分岐点から奥行面のスカイラインを見たときの統一性 [沿道ゆがみ] 分岐点から左右の沿道を見たときのスカイラインの統一性
	構成要素	[店舗]・分岐点から店舗までの距離関係(配置) ・店舗の建築形態
		[看板]・分岐点から看板までの距離関係(配置) ・看板の形態
		[植栽]・分岐点から植栽までの距離関係(配置) ・植栽の形態

動に影響を与える景観特性について明らかにする。

2. 分析方法; 本稿では, ゾーンBの細街路のうち行止りを除く全21ヶ所の細街路を対象に, 表1の分析方法を通じて進みたい・進みたくない要因を考察する。そこで, ゾーンBの21細街路の空間的特徴を捉えたものが表2である。これより, ゾーンBの分析対象のうち「進みたい」とする細街路は4ヶ所であった。しかし, その奥行面は統一・不統一に差が見られず(統一:50%, 不統一:50%), 沿道スカイラインは「進みたい」「進みたくない」ともに不統一が大部分を占め, 明確な要因が捉えられなかった。

そこで, ゾーンBの奥行プロポーションにおいて回遊行動に影響を与える要因を導くために, ゾーンAの中から進みたい要因として導くことのできた「奥行プロポーションの構成要素(奥行面, 沿道スカイライン)」と「街路の主要構成要素(店舗, 看板, 植栽)」を比較対象として, ゾーンA・Bそれぞれの各構成要素のデータを示したものが表3である。以降はこれをもとに分析する。

3. 結果および考察

(1) 奥行プロポーションの構成要素

1) 奥行面; 表3より, ゾーンAの進みたい細街路の奥行

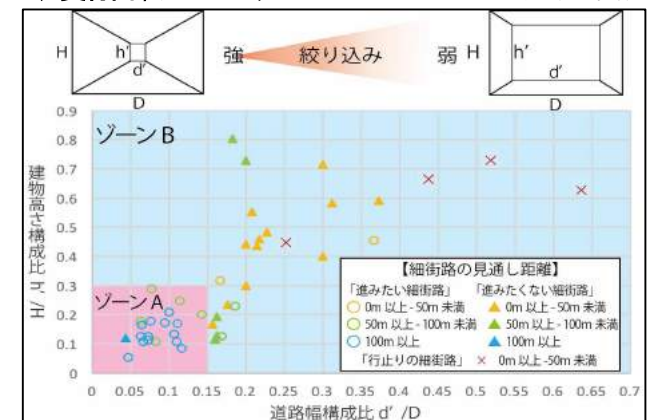


図2 「進みたい・進みたくない」細街路の奥行プロポーション [筆者作成]
 表2 ゾーンBの「進みたい・進みたくない」別「こみた街路構成」[筆者作成]

評価	奥行面(N=21)		沿道スカイライン(N=21)	
	統一	不統一	統一	不統一
進みたい細街路(4ヶ所)	2(50%)	2(50%)	0(0%)	4(100%)
進みたくない細街路(17ヶ所)	3(18%)	14(82%)	4(24%)	13(76%)

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち 3: 日大理工・院(前)・まち

面は半数以上が統一的(写真1)であった。一方、ゾーンBの進みたいくない細街路の奥行面は、8割が不統一(写真2)であった。これは、写真2のように奥行面の背後に高い建物があることにより、分岐点から見た際の奥行面のスカイラインの崩れが要因となっている。さらに図1に示す対象地域の用途をみると、分岐点から見た奥行面の背後に商業地域があることにより、高い建物が影響し奥行面は不統一となっていた。これより、細街路の奥行面よりもさらに奥にある地域の用途により奥行面の統一性は左右されると推察する。

2) 沿道スカイライン; 表3よりゾーンAの進みたい細街路は沿道建物のスカイラインの8割が統一的(写真3)であった。これに対して、ゾーンBの進みたいくない細街路は沿道スカイラインの約8割が不統一(写真4)であった。これより、細街路において沿道スカイラインは統一的であることが回遊行動を促す要因と推察される。

(2) 街路の主要構成要素

1) 店舗; 表3より、ゾーンAの進みたい細街路の店舗は全74件中、業種に関わらず分岐点から30m以内に8割存在し、その内部の賑わいを見通せる店舗が20m以内に7割が集積していた。一方、ゾーンBの進みたいくない細街路の店舗も全30件中、同様の業種が分岐点から30m以内に8割集積していたにも関わらず、これらのうち分岐点から20m以内の7割は店舗内部が見通せなかった。これより、分岐点から30m以内に店舗が集積していても、分岐点から20m以内に店舗内の賑わいを楽しむことができない店舗の建築形態は回遊意欲を損ねる一要因になると考えられる。

2) 看板; 表3より、ゾーンAの進みたい細街路の看板は分岐点から30m以内に9割の壁面・立・建植看板が集積していた。これと同様に、ゾーンBの進みたいくない細街路の看板も分岐点から30m以内に約9割の壁面・立・建植看板が集積し、ゾーンAとゾーンBの明確な違いがみられなかった。これより、看板は細街路において歩行者の回遊意欲に影響しないと考えられよう。

3) 植栽; 表3より、ゾーンAの進みたい細街路の植栽は分岐点から10m以内に半数が集中していた。一方、ゾーンBの進みたいくない細街路の植栽は10m以遠に約7割が集積していた。これより、分岐点から10m以内に植栽が集積すると誘引効果を促すであろう可能性を捉えた。

表3 ゾーンA・Bの細街路の奥行面・沿道スカイラインと主要構成要素の形態・距離関係 [筆者作成]

奥行面	ゾーンAの「進みたい」細街路		ゾーンBの「進みたいくない」細街路	
	統一	不統一	統一	不統一
進みたい(全18ヶ所)	10(56%)	8(44%)	進みたい(全4ヶ所)	2(50%)
進みたいくない(全1ヶ所)	0(0%)	1(100%)	進みたいくない(全17ヶ所)	3(18%)
写真1 統一的な奥行面		写真2 不統一的な奥行面		
沿道スカイライン	統一		不統一	
	統一	不統一	統一	不統一
進みたい(全18ヶ所)	15(83%)	3(17%)	進みたい(全4ヶ所)	0(0%)
進みたいくない(全1ヶ所)	0(0%)	1(100%)	進みたいくない(全17ヶ所)	4(24%)
写真3 統一的な沿道スカイライン		写真4 不統一な沿道スカイライン		
店舗	「進みたい」細街路は店舗内の様子を見通せることができる		「進みたいくない」細街路は店舗内の様子を見通せることができない	
	内部が見える		内部が見えない	
分岐点から20m以内(44/74件:59%)	30(68%)	14(32%)	分岐点から20m以内(15/30件:50%)	5(33%)
分岐点から30m以内(57/74件:77%)	31(54%)	26(46%)	分岐点から30m以内(23/30件:76%)	7(30%)
写真5 店舗内の様子を見通せることができる		写真6 店舗内の様子が見えない		
街路の主要構成要素	「進みたい」細街路は分岐点から30m以内の集積する看板		「進みたいくない」細街路は分岐点から30m以内に集積する看板	
	全看板数		全看板数	
61	55(90%)	19(35%)	25(45%)	11(20%)
写真7 集積する看板		写真8 集積する看板		
植栽	「進みたい」細街路は分岐点から10m以内に集積する植栽		「進みたいくない」細街路は分岐点から10m以遠に集積する植栽	
	全植栽		全植栽	
67	32(48%)	11(34%)	16(50%)	5(16%)
写真9 分岐点から10m以内に集積する植栽		写真10 分岐点から10m以遠に集積する植栽		

参考文献; 1) 森紗耶ほか4名:「都市空間における街区内細街路の景観演出に関する研究-東京都港区北青山地区の街区内細街路の外部景観評価について」, 平成28年度第60回日本大学理工学部学術講演会予稿集 CD-ROM, Vol.60, 2016.12 / 2) 森紗耶ほか4名:「都市空間における街区内細街路の景観特性に関する研究-奥行プロポジション分析法に基づく街区内細街路の内部景観評価について-」, 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会講演概要集 CD-ROM, Vol.72, 土木学会, 2017.9